



萌木

6月号



調布市立第七中学校

校長 山田 勝

令和5年6月8日発行

～自尊・立志・感動～

同じ時系列で成長する仲間との繋がり

校長 山田 勝

先日実施しました体育祭におきましては、多数の保護者の皆様にご参観・ご声援いただきました。当日の天候の影響で開始時刻の繰り下げや競技順の変更等、ご理解ご協力いただきありがとうございました。また、PTAの皆様には受付と自転車整理等お手伝いをしていただき、ありがとうございました。

近隣の皆様のご理解を合わせ、生徒たちも競技に集中し力を発揮できる環境ができました。グラウンドコンディションはあまりよくありませんでしたが、その中で力を合わせ競技に取り組む様子をご覧いただけたことと思います。今後とも共に生徒の成長の見守りをお願いします。

さて、1学期も早いものですでに折り返しを過ぎ、30日余りを残す頃となりました。

新学年・新学期の始まりは、生徒一人一人が安心して学校を自身の成長の場と捉えられるよう、環境を整え、また心の環境整備もできるよう特に配慮して行事や学活等を計画し、取り組みを進めてきました。

特に5月に実施した体育祭などの行事では、競技に取り組む身体の成長を確かめること以上に、普段は教室で机を並べともに学習を進める仲間と、クラスごとに目標を立て、心を合わせて取り組むことでできる絆を作ることを大切にしています。

6月は期末考査があり、一人一人が自分の目標に向け取り組みを進めますが、そのとき、一人だけで頑張るのではなく体育祭などの時に深めた絆を心のよりどころとして、自分も苦しい時でも学習に取り組めるような力に昇華させることができるとさらに成長することになります。

そのように同じ時を過ごす仲間と絆を築き、ともに挑戦する姿勢を持つことが、一人一人のより大きな成長につながることを、期待しています。

そのことを生徒に全校朝礼で次のように話しました。

今日は6月5日、2か月前は始業式前日、入学式2日前。期待と不安を抱えた1日だったでしょう。

この2か月で、いろいろなことがありました。新学年に進級したことが一番大きいことですが、新入生歓迎会や生徒総会、そして2週間前には体育祭がありました。新型コロナウイルスの対応が5類になったのも1か月前でした。体育祭は天気との兼ね合いで、1時間遅れでのスタートとなったり、競技順が変更されたりしましたが、みなさんが一生懸命にクラスの仲間と共に頑張る姿を見ることができました。競技ですから、勝ち負けがあり、順位がつきますが、クラスの仲間とともに安心して心のスクラムを組み取り組んだことで、仲間との絆を実感できたのではないのでしょうか。

これから、1か月半後の終業式まで、みなさんはどのような成長をしていくのでしょうか。2週間後には期末考査の返却が始まっています。この2週間、みなさんはどのように時間を使っていますか。テストに向けて計画的に時間を使う予定の人がほとんどでしょう。家で一人で学習に向き合っているとき、誘惑に負けそうになったり、頑張りがなくなったりすることがあるかもしれません。

そのときこそ、体育祭に向けての練習や本番を思い出してください。クラスの仲間と、ともに頑張れた自分を思い出しましょう。テストに向けても、自分だけが頑張っているわけではありません。困難や大変なことにも向き合っている仲間がいる、そのことを思い、また頑張ってみましょう。

そのようにできると、体育祭の時などに深めることができた仲間との絆が、より自分に力を与えてくれるようになるのです。そのことを感じることで、学校で共に学ぶことの意味にもつながります。

自分が頑張ろう、と思ったことに会ったときこそ、体育祭や普段の学級生活の中で感じ取った仲間との絆を思い出して力を得てください。前向きに取り組む頑張りぬく七中生、応援しています。